

目 次	
- 挨拶 -	会長就任のご挨拶…………… 1
- 寄稿 -	イギリスと日本の企業文化に接して… 2
- 経済研究所 -	平成21年度における調査研究事業の 基本スキーム… 3
	機械工業図書館・資料紹介…………… 5
- 技術研究所 -	新機械振興賞募集締切…………… 6
- 事務局 -	平成21年度第1四半期の動き…………… 6
	機械振興会館貸会議室<ご案内>…………… 7
- お知らせ -	STEP研究会<ご案内>…………… 8

— 挨拶 —

会長就任のご挨拶

財団法人 機械振興協会 会長 庄山 悦彦



今般、4月14日開催の当協会第179回臨時理事会において会長にご選任いただきました。本誌にて改めて皆様一言ご挨拶申し上げます。

前会長の豊田様には、わが国機械産業の健全な発展のため、長きに亘りご尽力を賜り誠にありがとうございました。我々を取巻く現下の環境は極めて厳しい状況にあり、皆様には大変ご苦労されていることと思います。しかし、危機にあるからこそ、そこにチャンスの胎動も感じられる局面を迎えています。豊田前会長のお考えを引き継ぎ、わが業界がこの難局を打開し、次の成長への新たな展開を進める一助となるべく、微力ながら誠心誠意取組んで参る所存です。

さて、昨秋以降、金融危機と实体经济悪化の負のスパイラルで未曾有の同時不況に陥った世界経済は、各国が協調して打出した金融・財政政策により一部に明るい兆しも見え始めました。そうした中、輸出の急減と生産の大幅な落込みにより先進国の中で最大の打撃を被った日本経済も、在庫調整が一巡し、景気の底入れ感が強まっています。一方、雇用情勢はいまだに厳しく、民間設備投資も大幅に減少しており、実需の本格回復にはまだまだ時間がかかりそうで、二番底に陥るリスクも孕んでいます。

世界経済が今回の危機を本当に乗り越えるためには、新たな構造変化を模索しなければならないでしょう。その一つは経済成長の牽引役の交代です。有効需要創出の場は、これまでの米国の過剰消費から新興国や途上国など多極化していくと思われまます。また、我々は、資源・エネルギー・環境など地球規模の課題を克服しなければなりません。真の意味での経済と環境の両立がいよいよ待たないとなるでしょう。こうした変化を的確に捉え、アジア諸国との連携を更に深め、得意とする省エネ・環境技術でグローバルに更なるリードができれば、わが国機械産業は、この苦境を乗り越え、次の成長につながる着実な一歩を踏み出すことができるはずで

一方、そのためには、変えてはならないものも守らねばなりません。いつの時代もソフト、サービスまで含めた“モノ”が価値のベースにあること、そして、その“モノ”を支える“モノづくり”、更にそれを支える“ひとづくり”が重要であることは不変です。特に資源小国日本にとって、金融資本主義の行き過ぎを戒め、実業として“モノづくり”を極め続けていく覚悟が求められていると思っています。

経済研究所・技術研究所の事業を中軸とする当協会には、こうした変わるもの、変えてはならないものを経済・技術の両面から峻別し、わが国機械工業の可能性を提示する使命があると考えております。引き続き、関係各位の変わらぬご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

イギリスと日本の企業文化に接して

レニショー株式会社 代表取締役 大石 真澄



最近では、日本国内はもとより海外市場に於けるビジネスの比率が益々増加しています。イギリスに本社を置く当社でも、海外ビジネスに触れる機会が多くありますが、そのような環境で27年勤務したことから見えてきたイギリスと日本の決定的な相違点を普段とは異なる視点でみなさんに紹介したいと思います。

1. 英語

まず、日本語でロジカルな説明、文章の組み立てが出来ない日本人は英語の上達に時間がかかるということが言えると思います。日本語的に文末に意思表示する考え方では英会話になりません。英語でのコミュニケーション上達への近道は、まずAGREEなのかNOT AGREEなのか結論を出し、またその答えがYESでもNOでもその理由を同時に考える訓練を日本語で行うことです。

会議などの席で”Do you agree?”と聞かれることが多くあります。日本語思考ですと、仮にYESであってもNOであっても、その理由ばかりが先行してしまい、相手になかなか結論が伝わりません。英語で思考するためには、いつでも自身の判断基準を持つことが重要です。判断基準があれば、おのずと結論と理由が明確になり、あっという間に会話の仲間入りです。

ビジネスシーンの中で一番嫌がられる振る舞いは結論の先延ばしです。海外ビジネスシーンではこのような考え方はそうめったにお目にかかれませんが、必ず期限を決め、結論を出します。最近のオバマ政権によるクライスラー、GMに対する意思決定を見れば明らかです。

2. 品質

言わずもがな日本の品質に取り組む企業文化は今や世界中を席卷し、あらゆる企業に浸透してきました。

当社も1990年にISO9001を取得し、設計、開発、製造に至る分野でマニュアル化を推進、責任や権限の所在を明確化し、そしてそのシステムを維持、継続することに重点を置いています。しかしながらISO9000シリーズの運用に対しては国民性の違いが色濃く反映されています。

日本企業との取組みで最も厳しく要求される品質問題の取組みですが、日本ではその品質目標を決めるとその達成翌年には更に高い目標を設定し、品質向上に取り組んでいます。

特に不具合が発生した場合、最も厳しく要求されるのは発生原因の追究です。FEN解析のように最適設計化された製品が多くなってきた昨今、この発生原因の特定には時間がかかることがあります。

当社はイギリスやアイルランドに製造の拠点を置いています。その昔、当社の製造品質は決して高いものではありませんでした。しかし日本の取引先の皆様方のおかげで、日本の高い品質基準が当グループ全体の基準となり、現在までに大きな成果を挙げることが出来ました。今や工場の各セルには“KAIZEN”カードが氾濫し、グループをあげて品質の向上に取り組んでいます。

3. 教育

イギリス出張中に招かれた家庭で印象に残った出来事がありました。当時小学生だった子供たちに将来の夢について聞いてみると、男の子は「僕、大きくなったらエンジニアになるんだ。」、女の子は「私はデザイナーになる。」と

はっきりとした口調で、目を輝かせながら答えてくれました。

このような傾向は社会人になる際にはより顕著に表れました。日本同様、欧米などでも大学を卒業した学生は友人家族に祝福されます。その席上で取り交わす言葉に就職に対する意識の違いが如実に表れています。

「卒業おめでとう。君はどんな仕事に就くんだね。」「プログラマーです。」「デザイナーです。」

一方日本では「君はどここの会社に就職したんだね。」…

この結果、欧米では20代の社員が責任権限を持って実践できる企業文化が生まれます。30代の役員が珍しくないのも頷けます。

イギリスではひと昔前、国営企業が数多く民

間化されました。今では外国資本の傘下企業も多くなり、日本企業が得意とするエンジニアリング改革の波に呑み込まれていますが、イギリス企業のフィロソフィーには“サイエンス”が今なお大きく関与しています。基礎研究、基礎開発に年間総売上の20%近くを投資している当社もそういったイギリスの典型的な企業文化を継承しているのかもしれませんが。

4. おわりに

昨年末の金融不安に端を発した世界中を巻き込んだ経済不況は、金融ビジネスの失態が原因でした。モノづくりの企業も巻き込まれましたが、必ずや来る経済環境の回復に向け教育や意識改革を着実にし、準備を怠らない様、イギリスと日本とで連携していきたいと思えます。

筆者紹介

生年月日／1957年9月3日	最終学歴／工学院大学生産機械工学	現職／レニショー(株)代表取締役社長
趣味等／磯釣り、モータースポーツ		

— 経済研究所 —

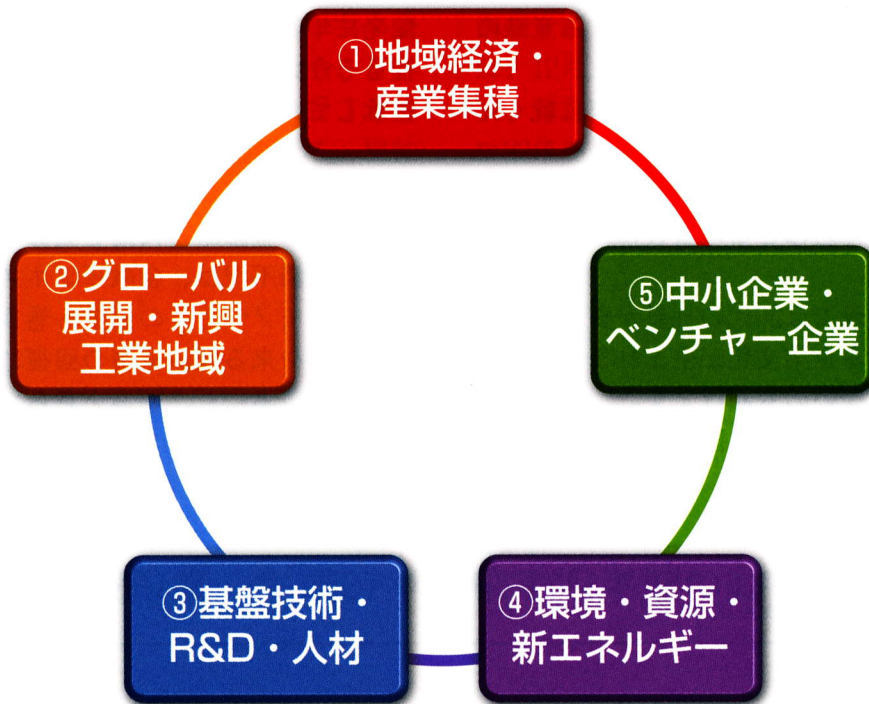
平成21年度における調査研究事業の基本スキーム

平成21年度における調査研究部の基本スキームは次ページ図のとおりです。今年度は、「グローバル・イノベーション期における地域間・企業間等の多様な連携と日本のモノづくり」に焦点を当てながら、様々な調査研究テーマについて取り組んでおります。

また、機械情報産業の動向を纏めた『日本の機械産業2009』、各研究員の問題意識に基づいた『機械情報産業カレント分析レポート』を随時発行する予定です。今年度も日本の機械情報産業の発展に寄与すべく一丸となって調査研究事業に励みますので、皆様からのご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

(調査研究部 部長代理 北嶋 守)

平成21年度調査研究事業基本フレーム
グローバル・イノベーション期における地域間・企業間等の多様な連携と
日本のモノづくり戦略



主な調査研究テーマ

- ①機械情報産業における地域経済及び産業集積の活性化に関する調査研究
研究視点：地域産業イノベーションによる産業集積の再構築及び地域経済再生の方策提案
自主研究：「国内産業集積の潜在力を活かしたグローバル・リンケージの可能性」他
- ②機械情報産業における日本企業の多様なグローバル展開等に関する調査研究
研究視点：アジア地域を含む日本企業のグローバル展開、新興地域の動向と日系企業の戦略
自主研究：「中東地域における日本企業のグローバル展開の可能性」他
- ③機械情報産業における基盤技術強化に向けたR&D及び人材育成等に関する調査研究
研究視点：自動車及び電子産業の牽引型産業と関連部品産業の強化、研究開発投資等の分析
自主研究：「次世代自動車の普及に伴うサプライヤーシステムの構造変化」他
- ④機械情報産業における環境・エネルギー等の低炭素社会対応に関する調査研究
研究視点：環境配慮型製品、再生可能エネルギー産業、省エネ技術等の企業戦略及び政策提言
自主研究：「エコデバイス／製造装置・材料／公的セクターの協力による対内外取り組み」他
- ⑤機械情報産業における中小企業及びベンチャー企業の競争力強化策に関する調査研究
研究視点：中小企業の経営強化、モノづくりベンチャーの可能性等の動向分析及び政策提言
自主研究：「国内裾野産業における構造変化に対応した中小企業の人材戦略」他

機械工業図書館・資料紹介

《機械工業図書館》

機械工業図書館では、「九州の産業と経済～機械工業図書館所蔵の資料のご紹介」という展示を行っています。(財)九州経済調査協会より寄贈を受けた調査報告書をはじめ、当館で所蔵する雑誌や報告書、社史や各県の立地情報を展示しています。

ここに展示された資料は機械工業図書館で閲覧できます。

九州経済調査協会の出版物

【定期刊行物】

九州経済調査月報（月刊）

九州の景気や産業の動向をはじめ、地域に関する論文やレポートを掲載。独自に算出しているデータを毎月掲載。

図説九州経済（年1回）

豊富な図と表を使った解説編と統計編
九州経済の動向を詳細に説明。九州経済の全国シェア、長期推移や経済年表も掲載

データ九州（年4回）

「九州海外進出企業一覧」「九州のベンチャー企業100社」などのオリジナルのデータ掲載

九州経済白書（年1回）

毎年テーマを絞って、九州・沖縄・山口地域の社会経済問題を分析する報告書。

【調査資料】

- * 地域別経済動向総合指標の作成に関する調査報告書
- * 2025年の九州経済；道州制導入後の九州経済の長期予測
- * 九州地域の製造中核人材に関する基盤的調査
- * 道州制・広域連携に関する全国事例調査
- * 北九州市観光振興プラン推進調査報告書
- * 基調講演・ビジネスプレゼンテーション講演資料
MAP2008；第8回半導体
実装国際ワークショップ（H21-036）
- * 九州とアジアの半導体実装関連企業データベース
MAP & RTS 2007

- 機械工業図書館所蔵する九州に関する資料の一部を以下にリストアップしました。

【ダイレクトリー・社史】

- ・工場ガイド・九州Ⅰ；福岡・佐賀・長崎
- ・工場ガイド・九州Ⅱ；大分・宮崎・熊本
鹿児島・沖縄（データフォーラム）
- ・九州地方電気事業史（九州電力株式会社）
- ・10年史（九州電力株式会社）
- ・九州配電株式会社十年史（九州配電株式会社）
- ・創立貳拾周年記念；熊本電気株式会社沿革史
（熊本電気株式会社）
- ・九機振三十年の歩み（九州機械工業振興会）
- ・福岡県工業技術センター；創立70周年記念誌
福岡県工業技術センター

【報告書】

- ・熊本セミコン・ルネッサンス；九州シリコンアイランドの新たな挑戦
（半導体産業新聞、産業タイムズ社）
- ・地域資源を活用した地域中小企業の取り組みの現状と展望；九州編
（中小企業金融公庫総合研究所）
- ・大分県の中小企業；経済統計及び財務諸表からみた大分県中小企業の全国における位置
（大分県商工労働観光部）

上記資料のほかに、九州各県の立地情報も展示しています。

*是非、ご来館の上お手にとってご覧下さい。

■ 問い合わせ先：

機械工業図書館 TEL：03-3434-8255 / E-mail:library@eri.jspmi.or.jp
URL：http://www.eri.jspmi.or.jp/library/library_top.htm

—技術研究所—

第7回新機械振興賞受賞候補者の募集締め切る

第7回新機械振興賞受賞候補者の募集を、経済産業省、中小企業庁、(財)JKA、(独)中小企業基盤整備機構、(社)日本機械工業連合会、日本経済新聞社の後援のもとに平成21年4月1日に開始し5月18日に締め切りましたところ、機械関係団体、地方公共団体、国公立試験研究機関及び学会等より25件の受賞候補者の推薦をいただきました。

受賞者は、書面審査、ヒアリング審査、現地調査を踏まえた審査委員会の審査を経て決定され、12月上旬に新聞紙上及びホームページに発表、2月上旬に表彰式の予定です。

22年度の募集は22年4月上旬に開始の予定です。ご応募をお待ち申し上げます。



—事務局—

機振協 平成21年度第1四半期の動き

- | | |
|----------|---|
| 4月3日(金) | 第32回生産システムの事前評価手法に関する小研究会 |
| 4月9日(木) | 第1回温度制御に関する小研究会 |
| 〃 | 第12回新規評価技術に関する小研究会 |
| 4月14日(火) | 第179回臨時理事会 |
| 4月16日(木) | 平成21年度経済研究所委託調査検討委員会 |
| 4月20日(月) | 第13回新規評価技術に関する小研究会 |
| 4月21日(火) | 第11回工作機械内衝突防止システムの実用化に関する研究会 |
| 4月22日(水) | 標準技術活用ビジネス小研究会・MESX共同 第34回全体会議 |
| 4月23日(木) | 第389回STEP研究会
「LED照明・有機EL照明の欧米における環境対応と産業振興策」 |
| 4月24日(金) | 第33回生産システムの事前評価手法に関する小研究会 |
| 4月27日(月) | 第2回温度制御に関する小研究会 |
| 5月12日(火) | 第3回温度制御に関する小研究会 |
| 5月14日(木) | 第101回技術研究所運営委員会 |
| 〃 | 平成21年度第1回技術研究所外部評価委員会 |
| 5月15日(金) | 第4回温度制御に関する小研究会 |
| 5月18日(月) | 第82回経済研究所運営委員会 |
| 5月19日(火) | 第5回温度制御に関する小研究会 |
| 5月20日(水) | 第390回STEP研究会
「世界規模で拡大する風力発電機市場と中小製造業のビジネスチャンス」 |
| 〃 | 標準技術活用ビジネス小研究会・MESX共同 第35回全体会議 |
| 5月22日(金) | 標準技術活用ビジネス小研究会・ORiN共同 第19回全体会議 |

- 5月26日(火) 機械系技術者のためのエレクトロニクス研修－デジタル回路の基礎－
 ♪ 第34回生産システムの事前評価手法に関する小研究会
- 5月27日(水) 第6回温度制御に関する小研究会
- 5月28日(木) 第12回工作機械内衝突防止システムの実用化に関する研究会
- 6月1日(月)～2日(火)
 第7回温度制御に関する小研究会
- 6月3日(水) 第14回新規評価技術に関する小研究会
- 6月5日(金) 第7回新機械振興賞第1回幹事会
- 6月8日(月)～12日(金)
 平成21年度前期 試験・分析・計測および機械安全に関する研修
- 6月15日(月) 平成21年度第1回経済研究所調査研究評価委員会
 ♪ 第13回工作機械内衝突防止システムの実用化に関する研究会
- 6月18日(木) 第180回定例理事会
 ♪ 第4回加工と計測に関する小研究会
- 6月19日(金) 第35回生産システムの事前評価手法に関する小研究会
- 6月22日(月) 第36回評議員会
- 6月26日(金) 第391回STEP研究会
 「期待が高まる太陽電池及び同製造装置産業の動向
 －企業の参入課題と政策支援の方向性－」
- 6月30日(火) 平成21年度第2回経済研究所調査研究評価委員会

なお、第36回評議員会、第180回定例理事会にて、平成20年度事業報告、収支決算が承認されました。詳細についてはHP (<http://www.jspmi.or.jp>) をご覧下さい。

○機械振興会館貸会議室＜ご案内＞

機械振興会館には、機械工業関連団体及び企業等の便宜に供するため、大小様々な会議室、研修室等の賃貸施設が備わっており、講演会、セミナー、理事会、総会をはじめ、懇親会、パーティ等の会場としてご利用いただけます。(賛助会員は割引があります。)

会議の内容、規模、人数等に応じて、それぞれに適した会議室をお選びいただけます。
 また、インターネット設備を整えた会議室もあります。



- ・場 所 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
- ・アクセス 東京メトロ日比谷線神谷町駅下車徒歩6分
 都営地下鉄三田線御成門駅下車徒歩7分
 都営大江戸線赤羽橋駅下車徒歩7分
 都営地下鉄浅草線・大江戸線下車徒歩9分
 JR浜松町駅下車徒歩15分

■ 問い合わせ及び申込み先：会館業務課 TEL：03-3434-8216～7

—お知らせ—

STEP研究会<ご案内>

7月のSTEP研究会

- テーマ 「世界に先駆けて開始された家庭用燃料電池システムの動向とその本格普及に向けた課題」
- 開催日時 平成21年7月30日(木) 13:30~15:00
- 会場 経済研究所 B2会議室
- 講師 当研究所 調査研究部 研究員 太田志乃
- 講演内容 2009年度より、家庭用燃料電池「エネファーム」の販売が世界に先駆けて順次開始された。5月にパナソニック製の販売がスタートし、7月には荏原バラード製の販売が予定されている中で、目標販売台数は両社併せて1,500台と発表されている。しかしながら、高額ゆえに一般普及への道のりはまだ先、との声も聞こえており、普及レベルに達するまでの課題の抽出と取組が、各メーカーによって行われているのが現状である。そこで本報告では、将来展望と普及のための技術課題を外観し、まだ参入の余地が残る家庭用燃料電池市場におけるビジネスチャンスを考える。



※お申し込み等、詳細は、HP (<http://www.eri.jspmi.or.jp>) をご覧下さい。

■ 問い合わせ先：企画管理室 吉村 TEL：03-3434-8251

子供の発明
X
KEIRIN

盲導犬
X
KEIRIN

オリンピック
X
KEIRIN

再生水
X
KEIRIN

RING!RING!プロジェクト、はじまる。

夢に向かってがんばる人たちの想いと、それを応援するケイリンの想い。2つの想いが自転車の両輪となって、まっすぐ未来に進んでいけるように。みんながやりたいことをかなえ、もっと笑顔の輪が広がっていくように。ケイリンの補助事業は「RING!RING!プロジェクト」に生まれ変わります。

Ring! Ring!

日本自転車振興会 (KEIRIN) は JOC 及び
日本代表選手を支援しています。

機振協ニュース 編集・発行

財団法人 機械振興協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
TEL 03-3434-8224 FAX 03-3434-8003 <http://www.jspmi.or.jp/>